

日本では民主主義はいまだに実現していない。それは可能性にとどまっている。

“人間を幸福にしない 日本というシステム”

カレル・ヴァン・ウオルフレン

人間を 幸福にしない 日本という システム

カレル・ヴァン・
ウオルフレン
原簿 藤 訳

人間を幸福にしない
日本というシステム
カレル・ヴァン・
ウオルフレン
原簿 藤 訳

毎日新聞社

輪読&分かち合い (本書の内容)

1. 日本人は「知る者」と「知らざる者」の二つにはっきりわけられ、普通の人々には「もってもらいウソ」だけが与えられ、真実やエリートだけが知っている。
 2. 恐怖心がマスコミ人を支配している。日常の会話では自分の意見をはっきり言う。しかしそれは決して紙面にでない。
 3. 日本では民主主義はいまだ実現していない。可能性にとどまっている。現実がほとんど妄想だ。妄想はただ現状維持だけに役立っている。
 4. 日本女性の晩婚化・少産化傾向は何を意味するか。経済的成長と秩序維持のために幸福を犠牲にする社会からの脱出をはかっている。
 5. 政治家は悪玉、官僚は善玉区間は最悪だ。日本人は意図的に騙されてきた。今こそ目を覚ましてほしい。新聞は偽るのをやめなさい。
- ※本書より



カレル・ヴァン・ウオルフレン (Kareru van wolferen)

ジャーナリスト、アムステルダム大学名誉教授。1941年、オランダ・ロッテルダム生まれ。72年よりオランダ [NRCハンデルスプラット] 紙の東アジア特派員、82年より日本外国特派員協会会長を務め「フォーリン・アフェアーズ」誌、「インターナショナル・ヘラルド・トリビューン」紙などに寄稿している。89年「日本/権力構造の謎」をアメリカとイギリスで出版。現代日本を知る最高の書として大反響を呼び、10か国に翻訳、世界的ベストセラーとなった。

2017年の国連調査ランキングで、155か国中最も幸せな国はノルウェーで、日本は51位、先進国と呼ばれる国にあって最下位でした。何をもって幸せというか考え方が分かれるところですが、東日本大震災以降、幸せの価値観に大きな変化が見られたのは事実です。自分たちの人生はどこかおかしい。この漠然とした不満を、多くの日本人が感じているのはなぜか？米国の植民地とされ官僚独裁主義のこの国で、政治・経済的変革等を経ながらどうすれば私たちは主と共に生かされる本当の民主主義を手にできるのでしょうか。

日時： 2018年3月19日 (月) 午前10時～12時

場所： 大阪クリスチャンセンター

内容： ①第43回キリスト者原発学習会

「人間を幸福にしない日本というシステム」輪読と読後の分かち合い

第三部 日本はみずから救えるか？ 第5章 (最終章) 成熟の報酬…「外国モデルの

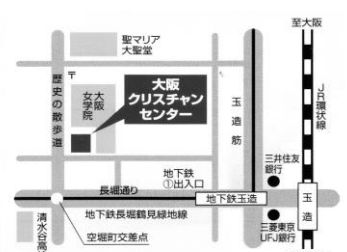
畏」、浸食される欧米の市民社会、恐怖心とロマンチズム、神経症にかかった国、愛国

心が試される時 ②その他

会費： 500円 (資料代など)

主催： キリスト者原発学習会

連絡先： 090-3974-1166 (弓場)



速報！「9条連・近畿」公開講演会 “I CANかI CANT 日本が決める”

日時：2018年 3月 18日 (日) 14時～17時00分

場所：吹田サンクス第4会議室 大阪府吹田市朝日町1-401 ☎06-6382-7243

講師： スティーブン・リーパーさん

前広島平和文化センター理事長、現NPO法人ピースカルチャーτζ代表理事

資料代：800円、主催：憲法9条一世界へ未来へ 近畿地方連絡会 (9条連・近畿)